

令和4年度

事務事業評価表 (令和3年度の実績評価)

記入年月日
令和4年4月4日

事務事業名		低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	新規	事務事業No.	010103001088
		単独/補助				補助			040201
政策体系	総合計画の施策名	0101	子育て支援及び少子化対策の推進					所属課	児童福祉課
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり					課長名	
	施策名	01	子育て支援及び少子化対策の推進					グループ	子育て支援G
	手段名	03	③経済面での子育て支援					担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計			
	01	03	02	09	01	00	低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)給付事業		
法令根拠						単年度のみ (令和3年度)			
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給要領						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するもの。</p> <p>【支給対象者】以下の①～③のいずれかに該当する方</p> <p>①令和3年4月分の児童扶養手当受給者の方</p> <p>②公的年金等を受給していることにより、令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けていない方</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準となっている方</p> <p>【支給額】 児童一人あたり 5万円</p>	<p>【補助金関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付申請 実績報告 支払状況調査回答 <p>【支給事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報誌、ホームページ掲載 積極支給対象者へ通知・支給 (R3.4~R3.5) 申請受付・支給 (R3.5~R4.3)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・積極支給対象者への支給 ・申請の受付・支給 ・広報(広報誌、ホームページ) ・補助金に関する事務(交付申請、実績報告等)	申請件数	件	0.00	12.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
児童扶養手当受給者もしくは、同等の所得水準の方	児童扶養手当認定者数	件	0.00	324.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う。	給付金支給件数	件	0.00	275.00	0.00	0.00	0.00
	児童人数	人	0.00	405.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	02年度(実績)	03年度(実績)	04年度(計画)	05年度(目標)	06年度(目標)	期間限定総投入量
財源	県支出金	千円	0	0	0		
内訳	地方債	千円	0	0	0		
	使用料・手数料	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	0	20,543	0		
	正規職員従事人数	人	0.00人	3.00人	0.00人		

03年度事業費実績(千円)		04年度事業費予算(千円)	
03 職員手当等	70		
10 需用費	31		
11 役務費	27		
12 委託料	165		
18 負担金補助及び交付金	20,250		
合計	20,543	合計	0

事務事業名	低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり)	事務事業No.	10103001088	所属課	児童福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
新型コロナウイルス感染症の影響を受けて損害を受けた低所得のひとり親世帯を見舞うため、令和3年4月に厚生労働省子ども家庭局長通知により事業開始。					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？					
学校の休校等により、仕事を休まざるを得なくなってしまった保護者が多いため、家計の援助として喜ばれている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 児童福祉の増進につながり、市の政策に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国が行う低所得の子育て世帯に対する子育て生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給事業であり、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 児童扶養手当を受給している方や同等の所得水準である方が対象であり、既に決定している児童扶養手当や、現在の収入状況を審査して支給を決定するものであるため、向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 国の事業であり、廃止・休止は有り得ない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし。	
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 令和3年度に限られた国の事業であり、効率的な事務処理を実施しているため削減余地はない。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 国の基準で実施しており、公正・公平である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	早期支給を目指し、積極支給対象者には5月11日に支給を行った。その後は、申請受付を開始し、正確な審査を行ったうえで、速やかに支給した。ホームページや広報誌、児童扶養手当認定者にはチラシを送付することで、十分な広報を行った。																		
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持				低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持																			
	低下																			
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>